

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	安全		責任者	建設部担当課長(運河河川管理担当)
施策名	港の安全性・信頼性の向上		連絡先	052-651-2072
事務事業名	中川口等におけるポンプ施設・通船門等の管理・運営		連携課	施設工事担当
目的	対象(誰・何を)	ポンプ施設・通船門等	事業期間	昭和26年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	適正に管理し、災害に備え常に異常なく稼働します。		
概要	中川口ポンプ施設・通船門等について保守点検を行い、不良箇所を発見した場合は緊急度に応じた補修を実施します。		根拠法令等	港湾施設条例施行規則 海岸法第14条の5
活動内容	異常が確認された、または老朽化した設備については、直営または外部委託にて補修を行い、災害時に異常なく稼働するようにします。		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	27年度	28年度	29年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	465,021	713,832	1,408,790	862,548	通船門の耐震補強工事の実施により増額しました。
人件費	千円	60,782	61,817	61,817	61,472	
合計	千円	525,803	775,649	1,470,607	924,020	

3 CHECK(検証)

指標名		27年度	28年度	29年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
災害時の施設の故障発生件数(件)	目標	0	0	0	0	稼働施設の災害時の故障発生件数(年間)を指標とします。	
	実績	0	0	0			
(単年度管理型)	事業進捗状況(29年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る 目標値どおり 目標値を下回る				
施設の年間試運転回数(回)	目標	132	132	126		稼働施設(ポンプ、通船門)の年間総試運転回数を指標とします。 5号機分解整備工事の施工に伴い、年間試運転回数が昨年度より減少しました。	
	実績	132	132	126			
(単年度管理型)	事業進捗状況(29年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る 目標値どおり 目標値を下回る				
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	中川ポンプ施設・通船門等について、直営及び委託による試運転、点検修理及び委託による定期点検、計画的な維持修繕を実施し、災害時には異常なく稼働しました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 港湾管理者として、災害発生時に被害が生じることを防ぐため、必要な事業です。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 災害に備え、海岸防災施設としての機能維持ができ、災害時に異常無く稼働しています。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 計画的な維持修繕を実施する事で効率的な事業を実施しております。					

4 ACTION(取組)

課題	30年度以降の取組
施設の経年劣化に対応した適正な維持管理が要求されます。	災害発生を防止するため、効率的かつ適正な維持管理を図っていきます。